

科目名	アメリカの文化と言語 I	科目区分	講義	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	1年生		
講義目標	<p>これからの国際社会に対応していくためには世界的公用言語である英語でのコミュニケーション能力が必要である。高校までの暗記を中心とした受験英語や学習とは違い、表現力を重視した、読む・書く・聴く・話す、の四技能を養い、実用的な英語を使いこなすためには、日本語とは異なる英語の言語学的特徴（発音、文法、語法等）を理解することが大切である。また、英語という言語の背景にある、主にアメリカを中心とした英語圏の文化の理解にも重点を置く。</p>				
講義概要	<p>コミュニケーション（聞く、話す）を中心として講義を行い、英語力を高めると同時にアメリカの文化やその文化の背景を理解する。</p>				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、英語での自己紹介を考え、発表する 2、マーティンルーサーキングについてテキストを要約する 3、マーティンルーサーキングについてテキストを要約する 4、スティーブンスピルバーグについてテキストを要約する 5、スティーブンスピルバーグについてテキストを要約する 6、エルビスプレスリーについてテキストを要約する 7、エルビスプレスリーについてテキストを要約する 8、アーネストヘミングウェイについてテキストを要約する 9、アーネストヘミングウェイについてテキストを要約する 10、ビルゲイツについてテキストを要約する 11、ビルゲイツについてテキストを要約する 12、グロリアステイネムについてテキストを要約する 13、グロリアステイネムについてテキストを要約する 14、カーネギーについてテキストを要約する 15、カーネギーについてテキストを要約する 				
成績評価	<p>出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。</p>				
使用テキスト等	<p>ピーター・セラフィン、根間弘海『Twenty American Heroes』三修社。</p>				

2022年度こども学科シラバス

科目名	カリキュラム論	科目区分	講義	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	3年生		
講義目標	乳幼児保育における長期的見通し、保育担当者の共通認識、指導計画の重要性と計画の作成法を扱う。				
講義概要	「計画・実践・反省・計画の改善」の関連性についての事例を理解するとともに、保育の省察から子ども理解と保育の見直しについて掘り下げ、一人ひとりに即した保育の実践能力を培う。				
講義計画	1、幼児教育における計画の重要性を理解する 2、幼児期の学習の特質を理解する 3、経験カリキュラムと系統的カリキュラム4、 5、幼稚園における教育課程の意義と編成の基本の理解 6、教育課程の編成の実際 7、教育課程と指導計画の関係 8、幼稚園における長期指導計画 9、幼稚園における短期指導計画 10、指導計画と保育実践 11、保育の記録と反省・評価 12、保育の評価と計画の改善、カリキュラム・マネジメントの意義と実際 13、教材研究 14、保育所・幼保連携型認定こども園の保育の計画 15、小学校との連携				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	神長美津子、他『乳幼児教育・保育シリーズ 教育課程論』光生館				

2022年度こども学科シラバス

科目名	こどもの音楽Ⅰ	科目区分	演習	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	1年生		
講義目標	音楽基礎Ⅰ、音楽基礎Ⅱで学んだ楽典および身に付けた演奏技術を更に向上させつつ、保育実習や幼稚園での教育実習に向けて実践的な取り組みを行う。				
講義概要	ピアノの弾き歌いだけでなく、リズム遊びや器楽合奏などの経験を積み重ねていきながら、子どもの発達段階における音楽教育の重要性を学んでいく。				
講義計画	1、弾き歌いの技術向上 2、弾き歌いの技術向上 3、弾き歌いの技術向上 4、弾き歌いの技術向上 5、ブルグミュラー課題曲練習 6、ブルグミュラー課題曲練習 7、ブルグミュラー課題曲練習 8、ブルグミュラー課題曲練習 9、ブルグミュラー課題曲練習 10、ブルグミュラー課題曲練習 11、季節の歌課題曲練習 12、季節の歌課題曲練習 13、季節の歌課題曲練習 14、季節の歌課題曲練習 15、スクーリング試験				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	石橋裕子、他『保育者・小学校教員のためのわかりやすい音楽表現入門』北大路書房。 『標準バイエルピアノ教則本』全音楽譜出版社。 『ブルグミュラー/25の練習曲』全音楽譜出版社				

2022年度こども学科シラバス

科目名	こどもの健康と安全	科目区分	講義・演習	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	3年生		
講義目標	保育環境を踏まえ子どもの保健に関する個別対応と集団全体の健康及び安全の管理の具体的な方法を学ぶ。				
講義概要	衛生管理、事故の予防 及び安全対策、危機管理、防災への備えについて理解する。子どもが体調不良になった場合の対処方法、救急処置と救急蘇生法などを身に付ける。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、子どもの健康と安全を学ぶにあたって 2、妊娠、胎児期の発育、染色体異常 3、子どもの成長と発達①：子どもの身体発育 4、身体発育の評価【演習】身体測定 5、子どもの成長と発達②：運動機能、神経機能、精神機能 6、健康の評価【演習】バイタルサインの測定 7、子どもの養護①：母乳栄養、人工栄養、離乳 8、子どもの養護②【演習】調乳、手洗い 9、子どもの養護③【演習】沐浴、口腔の衛生、排泄の援助 10、子どもの保健の年間計画 11、子どもの環境、事故の予防：環境の整備と安全教育 12、子どもの安全教育【 13、子どもの安全教育発表、質疑応答 14、救急時の対応 15、病気の子ども、障害のある子どもの対応 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	中根淳子・佐藤直子編著 『子どもの健康と安全』 ななみ書房。				

2022 年度こども学科シラバス

科目名	こどもの食と栄養	科目区分	講義・演習	単位数	2 単位
時間数	30 時間	対象学年	3 年生		
講義目標	小児期の栄養と食生活との関係を学び、一生涯の食生活の意義を理解する。また、保育者として、保育の食生活、「こころ」の健康について理解を深め、食生活の望ましいあり方と生活全般の関連性について広い視野に立って考察する力を養う。				
講義概要	発育・発達の各段階によって栄養要求量や摂取方法が異なってくる。発達暖気ごとの特徴や栄養摂取方法について学ぶ。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、五大栄養素について 2、五大栄養素の体内でのそれぞれの役割 3、ビタミンの多く含まれる食品 4、離乳の定義 5、離乳の進行と、初期、前期、中期、後期、完了期の注意点 6、母乳、調製粉乳について 7、フォローアップミルク、ペプチドミルクについて 8、母乳の栄養的、心理的長所 9、母乳の短所 10、偏食の定義 11、食欲不振の定義について 12、偏食・食欲不振の食事指導法。 13、熱量素、構成素、調節素について 14、初乳について 15、母乳の免疫について 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	上田玲子『新版 こどもの食生活－栄養・食育・保育－』ななみ書房。				

2022年度こども学科シラバス

科目名	こどもの保健	科目区分	講義・演習	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	2年生		
講義目標	子どもの心身の健康増進を図るための保健活動の意義を理解する。				
講義概要	子どもの運動機能及び生理機能の発達と保健について理解する。また、子どもの健康状態、心身の不調時の観察方法、発育・発達の把握と健康診断を具体的に学ぶ。子どもの疾患についての病態生理、その予防方法と保育者としての適切な対処方法について学ぶ。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、保育における子どもの保健の概要、健やか親子 2、子どもの健康を守る意義：健康の概念、解剖生理の理解 3、子どもの成長と発達①胎児の発育、小児期各期の身体発育 4、子どもの成長と発達②運動、神経、精神、呼吸、循環器 5、子どもに多い病気①感染症 6、子どもに多い病気②感染症 7、子どもに多い病気③消化器系、呼吸器系、内分泌系 8、子どもに多い病気④アレルギー系 9、子どもの精神保健：子どもの環境・虐待の要因とその影響 10、子どもの発達障害：発達障害の種類とその対応 11、子どもの栄養：母乳栄養、人工栄養、離乳 12、子どもの健康管理①年間計画、月間計画 13、応急処置の方法①：一時救急 14、応急処置の方法②：応急手当方法 15、まとめ 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	巷野悟郎、他 『子どもの保健－理論と実際－』 同文書院				

2022年度こども学科シラバス

科目名	こども家庭支援の心理学	科目区分	講義	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	2年生		
講義目標	乳幼児期から老年期までの人の生涯発達のプロセスや、各時期の課題について学ぶ。さらに、家族・家庭の意義や機能を学び、親子関係や家族関係等について、子どもとその家族を、発達の視点や、包括的に捉える視点を習得する。				
講義概要	現代の子育て家庭に関する社会的状況や、家庭の多様性、特別な配慮を必要とする家庭などについて学び、子どもがうける生育環境からの影響、子どもの心や健康に関わる問題について学ぶ				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、家庭支援へのアプローチ 2、乳幼児期から学童期にかけての発達の特徴 3、思春期から青年期の発達の特徴 4、成人期から高齢期の発達の特徴 5、家族システムと家族発達 6、親としての養育スタイルの形成過程と世代間伝達 7、子育て環境の社会状況的变化 8、ライフコースとワーク・ライフ・バランス 9、多様な子育て家庭への支援 10、特別な配慮を必要とする家庭への支援1 11、特別な配慮を必要とする家庭への支援2 12、子どもを取り巻く生活環境と心身の健康 13、子どもの心と健康 14、障害のある子どもの理解と対応 15、災害と子ども 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	本郷一夫、神谷哲司『シードブック 子ども家庭支援の心理学』建帛社				

2022年度こども学科シラバス

科目名	こども家庭支援論	科目区分	講義	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	3年生		
講義目標	保育の現場で働く者が「家庭」を理解し、子どもの生活環境や生活状況の多様性を理解しつつ、子どもの最善の利益を尊重した柔軟な支援を行っていきける力を養う。				
講義概要	子育て家庭に対する支援の意義と役割について理解し、保育士の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について、子どもの育ちの喜びを保護者と共有することや保護者自身の子育て実践力の向上に資する支援の重要性、保育士に求められる倫理観や受容的・共感的関わりのあり方などについて習得する。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、子ども家庭支援の意義と必要性 2、子ども家庭支援の目的と機能 3、子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進 4、子育て家庭の福祉を図るための社会資源 5、保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義 6、子どもの育ちの喜びの共有 7、保護者および地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援 8、保育士に求められる基本的態度 9、家庭の状況に応じた支援 10、地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力 11、子ども家庭支援の内容と対象 12、保育所等を利用する子どもの家庭への支援 13、地域の子育て家庭への支援 14、要保護児童およびその家庭に対する支援 15、子育て支援に関する課題と展望 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	松原康雄、他『子ども家庭支援論 新・基本保育シリーズ⑤』中央法規				

2022 年度こども学科シラバス

科目名	こども家庭福祉	科目区分	講義	単位数	2 単位
時間数	30 時間	対象学年	1 年生		
講義目標	少子高齢社会の進行、家庭や地域における子育て機能の変化など児童や家庭をめぐる環境が著しく変化するなかで、これからの児童・家庭福祉は、子どもを健やかに生み育てられる環境づくりと家庭に対する支援を一層重視した施策の展開が求められている。				
講義概要	児童・家庭福祉をめぐる環境の変化を踏まえて、児童福祉及び子ども家庭福祉の意義及び歴史的展開、法律、制度、福祉機関・施設の体系、母子保健、保育、児童虐待対策など子ども家庭にかかわる福祉・保健施策と子ども家庭への援助活動について学修する。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、子ども家庭福祉を取り巻く現状について 2、現代社会の子どもの育ちと子育てに関するさまざまな福祉ニーズ 3、子ども家庭福祉の原理、理念、権利保障 4、子ども家庭福祉の定義、児童福祉を实践する上での原理、理念 5、子ども家庭福祉にかかわる法制度 6、子ども家庭福祉行政の実施主体と主な実施機関、児童福祉施設など 7、母子保健の目的、歩み、母子保健法、母子保健施策の現状 8、障害児および家族の実情とニーズ 9、児童健全育成施策の目的と内容 10、保育の実施体制、保育の対象、保育制度の変遷 11、児童育成の責任と子育て支援に対する社会的支援 12、母子家庭等自立支援策大綱の制定と関連法規の改正 13、非行と情緒障害、非行の動向と非行についての理解 14、児童虐待の定義、児童虐待の実態、子どもを虐待から保護する仕組み 15、子ども家庭福祉分野における留意すべきソーシャルワーカー実践上のポイント 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	社会福祉士養成講座編集委員会 『社会福祉士養成講座 15 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度』 中央法規				

2022年度こども学科シラバス

科目名	ジェンダー論	科目区分	講義	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	1年生		
講義目標	生物学的に決定された性と社会的に規定された性(ジェンダー)であるかは、今後の社会を考える上で大きな問題となりうる。ジェンダー論の歴史やジェンダー政策等を知ることを通して多様な考え方や価値観を身につける。				
講義概要	日本社会の今後の変遷を予測し、望ましい社会様式を模索する。また、ゲイなどのマイノリティのセクシャリティー問題や、シングルマザーなどの人々の問題にもアプローチを試みる。				
講義計画	1、ジェンダーと社会学の視点 2、生物学的性差とジェンダー 3、文化の中のジェンダー 4、歴史の中のジェンダー 5、性差別とジェンダー 6、性暴力とジェンダー 7、「女らしさ」(女らしさの形成と再生産、諸問題) : 8、「男らしさ」(男らしさの形成と再生産、諸問題) : 9、労働とジェンダー 10、家族の中のジェンダー 11、教育とジェンダー 12、スポーツとジェンダー 13、セクシュアリティとジェンダー 14、国際社会とジェンダー 15、ジェンダー政策のゆくえ				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	伊藤公雄『新訂 ジェンダーの社会学』放送大学教育振興会				

2022 年度こども学科シラバス

科目名	ボランティア論	科目区分	講義	単位数	2 単位
時間数	30 時間	対象学年	2 年生		
講義目標	内的動機に支えられた活動には、そのための準備、トレーニング、実践体験の裏づけが必要である。ボランティアについての基礎理論を学習した上で、現場でのニーズの把握、適切な組織構成などの実践理論を、様々な過去のボランティア活動例（災害援助活動、国際交流、社会福祉活動等）を基に学修する。				
講義概要	自分の体験したボランティア経験や理論をもとに、より効果的なボランティア活動を行うために必要なことを考察していく。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、ボランティアとは何か 2、ボランティア活動の歴史（1）ボランティア活動の起源 3、ボランティア活動の歴史（2）ボランティア活動の発展 4、ボランティア活動の歴史（3）日本におけるボランティア活動 5、NPOについて 6、高齢者問題とボランティア 7、障害者問題とボランティア 8、児童問題とボランティア 9、災害とボランティア 10、環境問題とボランティア 11、行政とボランティア 12、福祉施設職員とボランティア 13、ボランティアと人権の視点 14、ボランティア活動を行う際の留意点 15、まとめ 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	巡静一、他『基礎から学ぶボランティアの理論と実際』中央法規。				

2022年度こども学科シラバス

科目名	音楽基礎 I	科目区分	演習	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	1年生		
講義目標	楽譜を読む、音を奏でる、リズムを打つといった音楽の基礎知識、技術を身につけ、対象者に合わせた音楽活動について考察する。				
講義概要	保育・教育・福祉等の現場に即した音楽活動について体験的な学習をする。				
講義計画	1、スクーリングにおける学修内容と科目終了試験について 2、バイエル35番、または55番 3、バイエル37番、または59番 4、バイエル39番、または66番 5、バイエル46番、または73番 6、バイエル49番、または77番 7、ピアノ個人レッスン 8、ピアノ個人レッスン 9、ピアノ個人レッスン 10、ピアノ個人レッスン 11、簡単な伴奏での弾き歌い 12、コードネームによる和音伴奏での弾き歌い 13、レポート設題に向けて 14、スクーリング修了試験の準備 15、科目終了試験の準備				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	石橋裕子、他『新 保育者・小学校教員のためのわかりやすい音楽表現入門』北大路書房。楽譜：『標準バイエルピアノ教則本』全音楽譜出版社。				

2022 年度こども学科シラバス

科目名	音楽基礎Ⅱ	科目区分	演習	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	1年生		
講義目標	「音楽基礎Ⅰ」で習得した音楽理論や楽器演奏等の基礎技能をふまえ、保育や教育の場において音楽を展開する上で必要とされる、保育・教育者としての素養と実践に必要な音楽の知識・技能等を習得する。				
講義概要	歌唱、ピアノ伴奏、弾き歌い（ピアノ伴奏をしながら歌う）等の技術を身につけるとともに、子どもを対象とした音楽活動とその指導について実践的に学ぶ。				
講義計画	1、ピアノ演奏及び弾き歌い個人レッスン 2、ピアノ演奏及び弾き歌い個人レッスン 3、ピアノ演奏及び弾き歌い個人レッスン 4、ピアノ演奏及び弾き歌い個人レッスン 5、ピアノ演奏及び弾き歌い個人レッスン 6、ピアノ演奏及び弾き歌い個人レッスン 7、ピアノ演奏及び弾き歌い個人レッスン 8、ピアノ演奏及び弾き歌い個人レッスン 9、ピアノ演奏及び弾き歌い個人レッスン 10、ピアノ演奏及び弾き歌い個人レッスン 11、ピアノ演奏及び弾き歌い個人レッスン 12、ピアノ演奏及び弾き歌い個人レッスン 13、ピアノ演奏及び弾き歌い個人レッスン 14、ピアノ演奏及び弾き歌い個人レッスン 15、スクーリング修了試験の準備、授業のまとめ。				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	石橋裕子、他『新 保育者・小学校教員のためのわかりやすい音楽表現入門』北大路書房。楽譜：『標準バイエルピアノ教則本』全音楽譜出版社。				

2022年度こども学科シラバス

科目名	教育原理	科目区分	講義	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	1年生		
講義目標	教育という営みに関心があり、「教育とは何か」ということを考え始めている人に対し、教育（学）の基本的な概念と基礎理論について概括することをおして、教育の意義と目的、教育の歴史及び思想、我が国の学校教育制度、発達段階に応じた指導原理、家庭教育及び地域教育の意義等について学ぶことを目的とする				
講義概要	受講生一人ひとりが、教育（学）および児童福祉の観点から今日の「子ども」を取り巻く環境の変化を理解した上で、「よりよい教育とは何か」を考える力を養う。				
講義計画	1、教育の基本原則（1） 2、教育の基本原則（2） 3、西洋の教育の制度と思想の歴史（1） 4、西洋の教育の制度と思想の歴史（2） 5、日本の教育の制度と思想の歴史（1） 6、日本の教育の制度と思想の歴史（2） 7、発達と教育（1） 8、発達と教育（2） 9、家庭・地域教育（1） 10、家庭・地域教育（2） 11、新学習指導要領等の特徴（1） 12、新学習指導要領等の特徴（2） 13、現代教育の課題（1） 14、現代教育の課題（2） 15、現代教育の課題（3）				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	広岡義之『新しい教育原理』ミネルヴァ書房 文部科学省『幼稚園教育要領』 文部科学省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』				

2022年度こども学科シラバス

科目名	教育実習指導（初等）Ⅰ	科目区分	演習	単位数	1単位
時間数	30時間	対象学年	2年生		
講義目標	教育の理解を深め、実践力と教師の使命感を身につけ、教育職としての資質を向上させることを目的とする。				
講義概要	管理運営の理解（教育課程の管理、事務・教務、教育活動一般）、幼児および児童の発達と理解、教材研究、指導の方法、学級経営などについて講義や事例検討を通して学ぶ。また、教育実習における日誌や個人記録の取り方を体得し、このことを通して幼稚園教育の実際や各自の教師としての能力・適性について認識を深める				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、教育実習の意味 2、子ども理解と援助・支援技術の理解 3、実習に必要な心構え、マナー、資質の理解 4、指導案、記入に必要な事項 5、子どもの活動と教師の援助、支援 6、指導案一枚の中の関連 7、指導案の作成 8、指導案の作成 9、模擬保育・授業の実施① 10、模擬保育・授業の実施② 11、模擬保育・授業の実施③ 12、子ども理解、実態把握からねらい、活動内容の再考察① 13、子ども理解、実態把握からねらい、活動内容の再考察② 14、目指す授業と自己課題の再設定 15、まとめ 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	『教育実習（初等）の手引き』				

2022年度こども学科シラバス

科目名	教育実習指導(初等)Ⅱ	科目区分	演習	単位数	1単位
時間数	30時間	対象学年	3年生		
講義目標	保育者に求められる専門的な知識の定着とともに、幼稚園教育をめぐる諸問題及び解決のための取り組み等について知見を広げ、専門性の向上を図る。				
講義概要	幼稚園教育実習の反省や評価をもとに、これまで修得した専門知識を振り返り、幼児の生活や発達の理解、幼児の発達を促す指導の在り方(環境構成や教師の援助)についての学修を演習を通して一層深めていく。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、教育実習の感想及び課題等をまとめる 2、幼稚園実習の基礎・基本についての要点 3、幼小の連携について 4、幼児教育をめぐる問題 5、「環境を通して行う教育」の意義 6、3歳児～5歳児について 7、部分実習指導案の作成に関わる自身の課題 8、保育者(実習生)の役割や留意点 9、模擬保育(一日)指導案の作成 10、模擬保育(一日)指導案の作成と教材研究① 11、模擬保育(一日)指導案の作成と教材研究② 12、模擬保育(一日)指導案について検討会 13、模擬保育(一日)指導案の改善と教材研究③ 14、指導の改善充実に生きる記録の取り方や反省・評価の仕方 15、保育者としての専門性の向上 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	東京福祉大学『教育実習(初等)の手引き』。 文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館				

2022年度こども学科シラバス

科目名	教育心理学	科目区分	講義	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	2年生		
講義目標	教育心理学とは、子供を教育していく上で必要となる知識を身につけ、子供の成長を促すためのより良い教育とは何かを心理学的視点から探求する学問といえる。そのため、発達、学習、パーソナリティ、測定・評価の4つの領域について基礎知識が必要となってくる。				
講義概要	基礎的知識修得はもちろんのこと、事例にのっとり、それらの知識をいかに教育の実践に役立てていくのか検討し、教育現場において生じる問題及びその背景、教育現場における心理社会的課題及び必要な支援を学ぶ。併せて、現実の教育現場で起きている問題への応用を考える				
講義計画	1、教育心理学とは 2、教育心理学のあゆみ 3、子どもの発達 ―遺伝と環境、レジリエンスの概念― 4、知能 ―知能の概念の有効性と限界― 5、性格（パーソナリティ） ―性格の概念と個人差― 6、学習のメカニズムについて 7、学ぶ意欲と授業の課程 ―動機づけとさまざまな授業方法― 8、学習の評価 ―教育評価の方法とテスト― 9、社会性を育む 10、集団としての子ども ―教育現場の社会心理学― 11、子どもの不適応行動1 ―いじめの問題― 12、子どもの不適応行動2 ―不登校、非行などの問題― 13、子どもの不適応行動3 ―現代を生きる子ども― 14、学校カウンセリングの基礎 15、障害のある子どもの理解				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	櫻井茂男『たのしく学べる最新教育心理学 教職に関わるすべての人に』図書文化。				

2022年度こども学科シラバス

科目名	教育相談	科目区分	講義	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	3年生		
講義目標	教育相談は、現在の学校教育のすべての活動のなかで幅広く実践されており、教師にとって不可欠な資質であるため、その知識及び実践力を身に着ける。				
講義概要	学校における教育相談とは何か、その意義と課題を理解し、教育相談にかかわる心理学の基礎的理論や概念を学ぶとともに、教育相談を進める際に必要な基礎的知識を身に着ける。また、教育相談の具体的な進め方や、組織的な取り組みや連携の必要性について理解する				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、教育相談の意義 2、来談者中心カウンセリングとカウンセリング・マインド 3、開発的カウンセリング 4、さまざまな心理療法 (1) 5、さまざまな心理療法 (2) 6、さまざまな心理療法 (3) 7、パーソナリティ 8、発達 9、発達障害 10、心の問題 11、教育アセスメント 12、不登校・不登園 13、非行、いじめおよび虐待 14、校内（園内）体制と組織的な取り組み 15、関係機関との連携・協働 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	石川正一郎、他『エッセンス学校教育相談心理学』北大路書房				

2022年度こども学科シラバス

科目名	教育法規	科目区分	講義	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	2年生		
講義目標	幼稚園、小学校、中学校教諭等の教員を目指す人たちが教育法規に関する基礎的な知識を身につけ、教員採用選考試験問題を解けるようになること。そして教員となった折には、その知識を用いて学校における法的な諸課題に対応できるようになることを目標とする				
講義概要	教育法規を体系的に理解し、その主な内容について説明する。教員や教員採用選考試験受験生にとって必要最低限の教育法規に関する基礎知識を理解し、重要な用語について説明する。				
講義計画	1、国の法令 2、教育行政 3、学校教育 4、学校組織と教育活動 5、教育課程 6、児童・生徒と生徒指導 7、教職員の職務と研修 8、教職員の職務と研修 9、人権教育における法規① 10、人権教育における法規② 11、障害児教育・特別支援教育と法規① 12、障害児教育・特別支援教育と法規② 13、学校保健・安全と法規 14、児童福祉・男女共同参画と法規 15、生涯学習・社会教育と法				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	古川治・今西幸蔵・五百住満 編著 『教師のための教育法規・教育行政入門』 ミネルヴァ書房。				

2022 年度こども学科シラバス

科目名	健康・スポーツ	科目区分	講義	単位数	2 単位
時間数	30 時間	対象学年	1 年生		
講義目標	運動やスポーツは発育段階によって質・量とも異なり、基礎体力やスキルを習得するには相応の至適時期があることを理解する。各方面における現場での具体的な運動計画を構築できるようにし、人間の真の健康とは何かを探る。				
講義概要	場や状況を考慮した各種スポーツや遊びを実践し、歩く、走る、跳ぶ、握る、ぶら下がるなど、種々の動きを促すための「運動」の重要性・必要性を理解する。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、「健康・スポーツ」の考え方とこれから必要となる健康感の把握 2、スポーツテストの歴史とその役割 3、スポーツテストの実施方法の理解 4、スポーツテストの実施方法の理解 5、スポーツテストが意味するもの詳細とその意義 6、スポーツテストの分析① 7、スポーツテストの分析② 8、分析結果の考察および相互における分析 9、分析結果の考察および相互における分析 10、対象者（各現場の視点からによる）の体力・健康における近年の傾向 11、基礎体力・基本的な生活習慣から見た対象者の理解 12、各種トレーニングの理解と期待される効果 13、近年における健康感 14、健康感の変遷と「Wellness」の基本的な考え方の理解と健康感の展望 15、本科目のまとめ（理想的な健康観） 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	大学生の健康・スポーツ科学研究会『大学生の健康・スポーツ科学』道と書院。				

2022年度こども学科シラバス

科目名	健康科学	科目区分	講義	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	1年生		
講義目標	健康づくりの第一歩は自分の身体および心理がどのような状態にあるかを正しく把握することにある。その方法を学び、どのような生活を送ることによりその身体的および心理的状态を、より健康なものにできるかを考えていく。				
講義概要	健康に及ぼす食事・睡眠・運動・ストレスの影響、免疫機能と感染症、嗜好品、医薬品について学び、さらに健康食品・グッズの効能についての正しい知識に基づいて、自身の身体状況を的確に把握して、問題点がある場合に改善することができる能力を身につけることを目標とする				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、人体の生理機能と健康・病気の定義 2、身体活動と食事・栄養 3、運動の効能 4、睡眠・日周リズムの意義 5、ストレス刺激とストレス病 6、免疫と生体防御機構 7、感染症と対策 8、快・不快と意欲 9、医薬品の正しい使用法 10、薬物乱用と防止対策 11、飲酒の功罪 12、喫煙の問題 13、サプリメントと健康グッズの正しい認識 14、妊娠と出産 15、健康維持・増進の総括 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	佐藤祐造、他『テキスト健康科学』南江堂。				

2022 年度こども学科シラバス

科目名	国語	科目区分	講義	単位数	2 単位
時間数	30 時間	対象学年	2 年生		
講義目標	書写を含む国語（日本語）に関する基礎的・基本的知識理解を確かにするとともに、今日の国語国字問題や国語教育及び言語生活について考える力を育てる。あわせて、各自の言語生活の向上と世界の言語のひとつとしての認識力を持って母国語としての日本語を尊重し、良くしようと する態度と実践力を養う。				
講義概要	世界の言語と日本の言語を比較して日本語の特徴を捉え、読む・書く・聞くといった基本的な活動を通して、国語力の向上につなげる。				
講義計画	1、日本語の特色（1） 2、日本語の特色（2） 3、日本語の方言のちがい 4、日本語の音声の特徴（1） 5、日本語の音声の特徴（2） 6、日本語の語彙について（1） 7、日本語の語彙について（2） 8、日本語の文字及び表記法の問題点 9、日本語の文法の特徴（1） 10、日本語の文法の特徴（2） 11、日本語の文法の特徴（3） 12、日本語の文法の特徴（4） 13、日本語の敬語の使い方 14、日本語の国語国字問題 15、国語力の向上や日本語の尊重に関する言語施策				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	金田一春彦『日本語 新版上下』岩波新書				

2022 年度こども学科シラバス

科目名	子育て支援	科目区分	講義	単位数	2 単位
時間数	30 時間	対象学年	3 年生		
講義目標	保育士の行う子育て支援の特性として、子どもの保育とともに行う保護者の支援、保護者との相互関係や信頼関係の形成、支援のニーズについての気づきと多面的理解、子どもと保護者が多様な他者とのかかわる機会や場を提供することなどを理解する。				
講義概要	子どもと保護者の状況・状態の把握、支援の計画と環境の構成、支援の実践・記録、職員間、関係機関との連携・協働を学ぶ。多様な支援ニーズを抱える子どもと家族への支援の実際（内容・方法・技術）を学ぶ。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、子育て支援とは 2、子育て支援の意義 3、子どもの最善の利益 4、保育者の専門性の活用 5、保護者の養育力の向上 6、保護者との信頼関係の形成—共感・受容— 7、保護者の自己決定の尊重と秘密保持 8、関係機関との連携・協力 9、子育て支援における保育環境の活用 10、相互理解や交流を深める 11、安心感や親としての自尊心を支える 12、子育て支援の困難性 13、保護者の特性や子どもの発達上の課題と子育て支援 14、保育者の援助の構えや保育システムの特性と子育て支援 15、「子どもの最善に利益」を保障する 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	亀崎美沙子、他『保育の専門性を生かした子育て支援』わかば社				

2022年度こども学科シラバス

科目名	子育て支援論	科目区分	講義	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	2年生		
講義目標	「子どもが健やかに生まれ育ち、地域で子育てを支える社会」を実践していく担い手として必要な知識・技能を身に着ける。				
講義概要	就労と育児の両立支援の推進、相談支援体制の整備・充実と子育て支援情報の提供、子どもが心豊かにたくましく育つための地域における子育て支援について、現状と課題を考察し、今後の地域における子育て支援のあり方と子育て支援の実践方法を学修する。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、現代の子育て家庭 2、子育て支援・家族援助とは何か。 3、わが国の子育て支援の政策 4、子育て支援事業 5、専門機関における子育て支援（1）：保育所 6、専門機関における子育て支援（1）：幼稚園 7、専門機関における子育て支援（1）：子育て支援センター 8、子育て支援における相談援助活動 9、多様な子育て支援の場 10、多様な子育て支援の人 11、多様な子育て支援活動 12、地域の子育てひろばの実践について 13、子育て支援の場における人と環境の整備 14、子育て支援のプログラム 15、子育て支援者の専門性と養成 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	橋本真紀・山縣文治編『よくわかる家庭支援論』ミネルヴァ書房。				

2022 年度こども学科シラバス

科目名	社会的養護 I	科目区分	講義	単位数	2 単位
時間数	30 時間	対象学年	2 年生		
講義目標	社会的養護及び児童養護に関する考え方や理念、児童養護の歴史、児童養護の制度など、基礎的知識を学修する。				
講義概要	実際に福祉現場に出たときに必要な 知識・技術を身につけるために、児童養護に関する事例ケースを基に、ケースワークやグループワークなどの方法について分析する。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、現代社会の環境や家庭の機能の変容 2、現代社会の現状と課題 3、現代社会における児童及び母子・父子家庭が抱える問題 4、現代社会における社会的養護に意義 5、社会的養護の歴史の変遷と今日的課題 6、社会的養護の制度と実施体系 7、児童の権利擁護 8、施設養護の理念と施設養護の原理と援助 9、社会的養護の領域（家庭養護） 10、社会的養護の領域（施設養護） 11、施設養護の実態 12、社会的養護の実践者に求められる専門性と援助技術① 13、社会的養護の実践者に求められる専門性と援助技術② 14、施設運営管理及び経営 15、理想とする社会的養護と支援の内容や質 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	小野澤昇、他『子どもの生活を支える社会的養護』ミネルヴァ書房				

2022 年度こども学科シラバス

科目名	社会的養護Ⅱ	科目区分	講義	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	3年生		
講義目標	居住型児童福祉施設の創設の意図や目的について、座学や演習を通して学ぶ。また、同時に施設を利用する子どもへの理解を深めるとともに、福祉施設が内在する機能や役割について学ぶ。				
講義概要	児童の心身の成長や発達を保障し支援するために 必要な知識や技術、環境について学修し、適切な児童観を育て、かつ施設養護の有効性について学修する。加えて、地域社会と居 住型児童福祉施設の関係性についても理解する。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、社会的養護内容とは何か 2、社会的養護内容の基本的視点 3、社会的養護内容を進める際の基本的方向性 4、施設養護の現状と課題① 5、施設養護の現状と課題② 6、施設における支援の実際① 7、施設における支援の実際② 8、児童福祉施設・機関における支援の実際① 9、児童福祉施設・機関における支援の実際② 10、社会的養護内容の実践を行うための専門的技術 11、社会的養護内容の実践を行うための専門的技術の応用 12、利用者支援とリスク管理 13、社会的養護内容を受け持つ施設の役割と運営管理にあり方 14、施設実習に向けて必要とする知識 15、今後の展望と課題 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	小野澤昇、田中利則、他『子どもの生活を支える社会的養護内容』ミネルヴァ書房				

2022 年度こども学科シラバス

科目名	社会福祉	科目区分	講義	単位数	2 単位
時間数	30 時間	対象学年	1 年生		
講義目標	基礎的な社会福祉について体系的に学修する。				
講義概要	わが国や諸外国の社会福祉の歴史や歩み、現代社会において社会福祉が果たしている役割、社会福祉の法体系と運営実施体制、社会福祉の行財政と費用負担、民間社会福祉の組織と活動、少子高齢社会となっているわが国の社会福祉の課題と展望などを学修する				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、社会福祉の概要と枠組み 2、日本における社会福祉の歩み (1) 3、日本における社会福祉の歩み (2) 4、日本における社会福祉の歩み (3) 5、欧米における社会福祉の歩み 6、社会福祉の援助対象 7、社会福祉におけるニーズの捉え方 8、社会福祉の法制度 9、社会福祉の行政と財政 10、社会福祉と民間福祉活動 11、社会福祉援助技術 (相談援助) の意味 12、社会福祉機関の組織と運営 13、社会福祉の国際動向 14、21 世紀社会福祉の展望 15、まとめ 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	小田兼三、杉本敏夫『社会福祉概論：社会福祉の原理と政策』勁草書房				

2022年度こども学科シラバス

科目名	障害児保育	科目区分	講義	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	2年生		
講義目標	近年、個のニーズや生活様式の多様化とともに、療育における支援のあり方も多様化している。そのような中で統合保育の効果が実証されつつあり、障害のある子どもの療育の場として統合保育を希望する保護者は多い。一方「気になる」子どもの報告が増え、今やこれらの子どもに対する専門的知識と対応力の向上は必須となっている。				
講義概要	乳幼児の定型発達に関する基本的な知識をふまえながら、特別なニーズのある子どもへの対応、障害の受容期にある保護者への支援のあり方、保育所の職員間や外部専門機関との連携等に視点をおきながら、障害児療育の理論と実践について学ぶ。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、障害の理解 2、障害のある子どもの生活を支える福祉や医療の制度 3、障害のある子どもの発達 4、療育における家庭の子育て支援 5、療育の種類と支援・専門家との連携 6、地域における専門機関との連携 7、就学への移行と特別支援教育 8、よりよい療育実践のために 9、知的障害児への支援 10、肢体不自由児への支援 11、自閉症を伴う子どもへの支援 12、「気になる子ども」への支援 13、教材・教具と発達支援 14、運動遊びと発達支援 15、事例に基づいて 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	市川奈緒子・岡本仁美「療育・発達支援入門」金子書房				

2022 年度こども学科シラバス

科目名	情報機器の操作 I	科目区分	演習	単位数	2 単位
時間数	30 時間	対象学年	1 年生		
講義目標	文献や資料の十分な収集、定性的又は定量的なデータの統計解析は、新たな福祉ニーズの発見や、すでに提供されているサービスの適切さなどを評価するために重要な手段である。初心者を対象にインターネットでの情報収集、電子メールでの文書作成や、表計算での定量的な処理などを学び、演習を主体に学修していく。				
講義概要	コンピュータの基本操作から、インターネットの概念や使用時の留意事項等を直接操作しながら身に付けていく。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、コンピュータとは何か、仕組み、基本的な操作、歴史等について 2、インターネットの歴史、サービスについて 3、コンピュータ・ネットワークを利用する上でのマナーについて 4、著作権について 5、ワープロソフトとは・基本的な利用方法 6、さまざまな機能を用いたレポート文書の作成 7、表計算ソフトとは・基本的な利用方法 8、関数の利用 9、グラフの作成 10、データの処理、並べ替え、フィルタリングなど 11、プレゼンテーションソフトとは・基本的な利用方法 12、プレゼンテーションをするにあたっての注意点 13、プレゼンテーション実習 14、総合演習 15、総合演習 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	太田宗雄、他『コンピュータ入門』共立出版				

2022年度こども学科シラバス

科目名	人権教育	科目区分	講義	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	1年生		
講義目標	子どもは人権の主体である。わが国においても、子どもの最善の利益の確保、差別の禁止、子どもの意見の尊重などの国際的な原則のもとで、その権利が現実には保障されるようになることが大切である。				
講義概要	この講座では、子どもの権利がどのように擁護されているのか、法令などの内容や社会、学校、家庭などの実態に即しながら考察を深める。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、人権教育について自身の体験について想起し整理する。 2、「憲法」および「世界人権宣言」にみられる基本的人権について 3、「人権教育・啓発に関する法律」の制定の経緯や関連について 4、「子どもの権利に関する条約」について理解を深める 5、条約の中で子どもの最善の利益がどのように捉えられているか 6、子どもの「意見表明権」がどのように捉えられているか整理する 7、子どもの「ゆとりや遊びの権利」がどのように捉えられているか 8、「親の権利義務と子どもの権利義務」について整理する。 9、高齢者、障害者など、人権侵害の課題について整理する。 10、わが国の人権教育の歩みと「同和教育」との関連を整備理する 11、「アイヌの人びと、外国人」の人権侵害・保障について整理する。 12、学校における人権教育の実際について、指導方法を含めて整理する。 13、幼保および小学校の人権教育の実際について整理する。 14、いじめのない学校に向かう方策を考察する。 15、共生社会の実現のために) 学校教育の果たす役割について考察する。 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	中野光、他『子どもの権利条約』岩波書店。				

2022年度こども学科シラバス

科目名	図画工作 I	科目区分	講義・演習	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	1年生		
講義目標	本講義においては、多様な材料経験や造形における基礎的な実習等、指導者として求められる豊かな造形表現活動の体験に主眼をおき、実践力を身に着ける。				
講義概要	造形教育の目的の理解と併せて保育内容（表現）や図画工作科の内容を理解し展開するために必要とされる多様な材料体験や造形表現体験を通して造形表現活動の経験を豊かにし、造形教育において必要な基本的な知識や技術を体験的に理解し習得する場とする。				
講義計画	1、造形教育の目的と内容 2、幼少接統一学びの連続・幼少期の終わりまでに育ってほしい姿 3、他教科との連携による造形教育 4、絵画 ① 5、絵画 ② 6、版画 ① 7、版画 ② 8、彫刻 ① 9、彫刻 ② 10、デザイン・映像メディア表現 ① 11、デザイン・映像メディア表現 ② 12、工作・工芸 ① 13、工作・工芸 ② 14、鑑賞 15、社会への広がり				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	樋口一成：編著『小学校図画工作の基礎』萌文書林。				

2022年度こども学科シラバス

科目名	専門演習 I	科目区分	講義・演習	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	3年生		
講義目標	保育・子育て支援について具体的な事例、課題を取り上げながら演習形式にて、調査・分析、問題点整理の方法を学ぶ。				
講義概要	保育の現場での「保育」「子育て支援」「他文化の理解」の3つの視点を学生同士で、調べたり討論を交えたりしながら学修していく。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、現代社会と子どもの育ち 2、幼児期の発達と遊び 3、子どもの心を知ることについて 4、子どもの心を理解するための臨床心理学的な視点と方法 5、子どもの心を知る方法としての観察、記録の重要性に 6、「カウンセリングマインド」について 7、保育におけるカウンセリングマインドの重要性について 8、考察のまとめ 9、実践編1 保育者による保育の組み立てについて 10、実践編2 保育者によるこどもへの対応について 11、実践編3 保育者による保護者への対応及び保護者からの質問について 12、実践編4 実習中の指導・援助について 13、実践編5 実習生・初任者が抱えるこどもへの対応のわからなさについて 14、実践編6 実習生・初任者における園や保育者とのかかわりについて 15、総まとめ 保育における保育臨床相談について 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	小田豊、他『保育臨床相談』北大路書房				

2022 年度こども学科シラバス

科目名	専門演習Ⅱ	科目区分	講義・演習	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	3年生		
講義目標	これまでの学修や実習体験を振り返り、子育て支援のあり方の幅広い可能性に重点を置いて「こどもの専門家」としての職業意識を養う。				
講義概要	保育・子育て支援の具体的な事例・課題について学修を行うことを通じて問題解決能力を養い、現代社会のニーズにかなった「こどもの専門家」としての専門性を高めることを目的とする。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、実習施設の理解 2、子どもを観察する視点と方法① 3、子どもを観察する視点と方法② 4、子どもを観察する視点と方法① 5、子どもを観察する視点と方法② 6、実習時や保育現場における保護者への対応① 7、実習時や保育現場における保護者への対応② 8、子育て支援について① 9、子育て支援について② 10、実習中に学ぶ保育現場での支援① 11、実習中に学ぶ保育現場での支援② 12、保育環境 13、児童文化教材 14、保育者の資質向上のために 15、実習や保育現場で学ぶことは 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	関口はつ江、他『保育実習ハンドブック』大学図書出版。				

2022年度こども学科シラバス

科目名	特別ニーズ教育論	科目区分	講義・演習	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	2年生		
講義目標	障害の有無に関わらず特別の教育的ニーズのある児童を理解する。				
講義概要	(1) インクルーシブ教育の理念とシステム構築の具体化の模索、(2) わが国の特別支援教育の理念、制度及び展開、(3) 特別支援学校や特別支援学級、通級による指導、地域連携支援などの特別支援教育の各形態の現状と課題、についてそれぞれ講述する。				
講義計画	1、特別支援教育の歴史 2、インクルーシブ教育への転換 3、インクルーシブ教育への転換2 4、インクルーシブ教育への転換3 5、障害児の教育課程と方法 6、障害児の教育課程と方法2 7、障害児の教育課程と方法3 8、障害児の教育課程と方法4 9、障害児の教育課程と方法5 10、障害児者の発達・障害・生活 11、障害児者の発達・障害・生活2 12、障害児者の発達・障害・生活3 13、障害児者の発達・障害・生活4 14、障害児者の発達・障害・生活5 15、障害者のライフステージと教育・福祉				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	玉村公二彦、他『新版 キーワードブック 特別支援教育』クリエイツかもがわ。				

2022 年度こども学科シラバス

科目名	乳児保育 I	科目区分	講義	単位数	2 単位
時間数	30 時間	対象学年	2 年生		
講義目標	わが国における乳児保育の発展の経緯と現状を確認し、保育所や乳児院の役割を理解する。				
講義概要	乳児の発達・発育を留意した、乳児保育の担当者として求められる役割および理論や知識・技術の基本を理解し、保育現場での課題解決方法を理解する。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、日本の子育て環境と乳児保育の実態 2、乳児保育の発展の経緯と政策の変遷 3、乳児の身体の発育と運動面の発達理解 4、乳児の身体の発育と運動面の発達理解 5、乳児の身体の発育と運動面の発達理解 6、乳児の生活と健康 7、乳児の生活と健康 8、乳児の基本的生活と健康 9、乳児期の基本的生活 10、乳児の遊びと対人関係 11、乳児の遊びと対人関係 12、保育計画の立て方 13、乳児保育における現代的な課題 14、乳児保育の担当者として求められる役割と資質 15、乳児保育の担当者として求められる役割と資質 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	大阪保育研究所『テキスト乳児保育』フォーラム・A				

2022年度こども学科シラバス

科目名	乳児保育Ⅱ	科目区分	講義・演習	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	3年生		
講義目標	乳児保育Ⅰで学んだことを基礎として、保育を実践するために必要となる乳児あるいは低年齢児にかかわる保育内容について、実践的な視点から具体的かつ総合的に理解する				
講義概要	乳児保育Ⅰで学んだことを更に実践的に行う。具体的にはおむつの替え方からミルクや離乳食の作り方、保育室の環境づくり、愛着関係について等を幅広くより深く学修する。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、乳児保育の基本となる考え 2、乳児の生活：日課 3、乳児の生活：遊ぶ 4、乳児の生活：食事 5、乳児の生活：睡眠 6、乳児の生活：排泄 7、乳児の生活：安全 8、乳児の生活：健康 9、乳児の生活：保育室 10、家庭とのつながり 11、保育所での環境と生活の仕方 12、生活を支える保育者の役割 13、子どもと生活を共にする保育者の役割 14、日々の生活の中から見えてくる子どもの姿 15、乳児が生活する場所の問題 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	阿部和子『乳児保育の基本』萌文書林。				

2022年度こども学科シラバス

科目名	発達心理学 I	科目区分	講義	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	1年生		
講義目標	心の機能は、感覚・知覚・認知、社会性、気質・性格、感情などさまざまな側面を見せながら、人の一生を通じて変化していく。発達とは、個々に異なる様相をみせると同時に、乳児期、幼児期、学童期、青年期などの各ライフステージにおける普遍的な特徴をもつ。				
講義概要	発達概念および各ライフステージにおける心理及び行動の特長について学び、また、発達における環境の影響として学習や動機づけの理論について学ぶ。こうした学びによって、子どもの発達過程をふまえて、主体的学習を支える援助のあり方について、理論的に説明できるようになることを目指す				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、子どもの発達を理解することの意義 2、子ども観と保育観の変遷 3、胎児期・新生児期の発達の特徴 4、乳幼児期の発達の特徴 5、児童期の発達の特徴 6、青年期の発達の特徴 7、身体・運動の発達 8、認知の発達 9、言語の発達 10、感情の発達 11、気質・性格の発達 12、学習理論 13、動機づけ 14、心身の発達をふまえた保育者の指導 15、心身の発達をふまえた集団作り 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	本郷一夫『シードブック保育の心理学 I・II』建帛社				

2022 年度こども学科シラバス

科目名	発達心理学Ⅱ	科目区分	講義・演習	単位数	2 単位
時間数	30 時間	対象学年	2 年生		
講義目標	発達心理学Ⅰで基礎的知識を学修するため、ここでは保育実践に活かせる発達理解をすすめる。				
講義概要	遊びや生活の活動の具体的な姿 に表れる発達の姿を扱い、発達課題に即した教育的環境構成ができるようにする。子どもを総合的に捉え、環境との主体的な相互作用の意義、現代社会における子どもの問題等を具体的に考察する。				
講義計画	1、子どもの発達理解の方法 2、子どもの精神的健康と障害 3、園内研修を通じた子どもの発達理解 4、他機関との連携を通じた子どもの理解 5、親子関係の発達と支援の実際 6、仲間関係の発達と支援の実際 7、遊びの発達と支援の実際 8、自己の発達と支援の実際 9、認知発達への支援の実際 10、言語・コミュニケーションへの支援の実際 11、演習課題 1 12、演習課題 2 13、演習課題 3 14、発達障害について 15、虐待について				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	本郷一夫『シードブック保育の心理学Ⅰ・Ⅱ』建帛社				

2022 年度こども学科シラバス

科目名	文章表現	科目区分	講義	単位数	2 単位
時間数	30 時間	対象学年	1 年生		
講義目標	目標は、文学的表現や美文調の修辞等ではなく、むしろ簡潔で明快な表現法である。文法・文字表記の正しさ、語彙選択の適切さ、表現の適切さ・わかりやすさ、文章構成の明確さ、論理の一貫性などに重点をおいて学修していく。				
講義概要	本科目では、レポート作成に必要な「書く」技術の基礎訓練を行う。実際に自分で文章を作り、それを推敲することを繰り返すことで所謂「文章力」を高めていく。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、レポートとは何かを知り、レポートの形式を理解する。 2、レポートで必要とされる文章を知る。 3、レポートで求められる文章の構造を理解する。 4、レポートの主題を設定する。 5、レポートを設計する。 6、レポートを書くために必要な情報を集める。 7、必要な情報を整理し、要約する。 8、レポートにおける段落の役割と構造を知る。 9、レポートを組み立てる。 10、文献や資料からの引用方法を知る。 11、ポイントを押さえてレポートを作成する。 12、参考文献リストの書き方を理解する。 13、レポートの表記の方法を知る。 14、文章・表現・形式を点検する。 15、作成したレポートを自己評価する。 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	古郡延治『論文・レポートの文章作法』有斐閣新書 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。				

2022年度こども学科シラバス

科目名	保育・教職実践演習	科目区分	講義・演習	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	3年生		
講義目標	これまで修得した保育の専門知識の振り返りによって保育の専門的基礎力の定着を図ること、及び専門的知識技能の 実践への応用、課題解決能力を高めることの二点が目標になっている。				
講義概要	現在の保育実 践上の課題、子どもや子育てに関わる環境上の諸問題を自ら発見し、その改善に向けての方策を考え、実行することができるよう、 問題発見能力、課題解決能力、実践への積極的態を養う。そのために現在の保育問題（少子化、保育制度、子育て支援、幼小連 携等）についてよく調べ、身近な具体的課題を設定し、テーマ毎に研究、グループ討議、研究発表を行う。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、保育実践の特殊性と保育者に必要な専門的技能 2、子どもの最善の利益を考慮した保育 3、幼児教育者に求められているもの① 4、幼児教育者に求められているもの② 5、幼児教育者に求められているもの③ 6、保育環境の改善① 7、保育環境の改善② 8、保育環境の改善③ 9、総合的な実践の結びつき① 10、総合的な実践の結びつき② 11、総合的な実践の結びつき③ 12、総合的な実践の結びつき④ 13、総合的な実践の結びつき⑤ 14、保育者としての向上① 15、保育者としての向上② 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	<p>横山文樹、駒井美智子編著『保育・教職実践演習』大学図書出版。</p> <p>社会福祉法人日本保育協会『保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領』。</p> <p>文部科学省『幼稚園教育要領 解説』フレーベル館</p>				

2022年度こども学科シラバス

科目名	保育原理	科目区分	講義	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	1年生		
講義目標	乳幼児期が人間形成の基礎としてきわめて重要な意味を持つことは、諸科学の進歩とともにますます強調されている。特に自己を主張し始める乳幼児期にあっては、保育者の側に乳幼児に対する十分な理解と洞察がなければならない。そして保育者が保育実践の中で何をめざしているのか、目的をしっかりと持つことが重要である。				
講義概要	保育の歴史と現状、意義、課題、基本的原理、さまざまな保育思想などの基本知識を学びながら、確かな保育観、子ども観、あるいは発達観を築く。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、保育とは 2、保育の歴史について学ぶ（1）西洋近代の保育思想 3、保育の歴史について学ぶ（2）保育施設のはじまり 4、保育所・幼稚園・認定こども園の歩み 5、乳幼児期の発達と子どもの生活 6、保育の計画及び評価 7、これからの保育者①これからの保育者 8、これからの保育者②バランスのとれた管理と支援 9、子育て支援①子育て支援が求められるのはなぜか 10、子育て支援②地域の子育て支援の役割 11、子育て支援③保育所・幼稚園・認定こども園における子育て支 12、①多様な保育ニーズに対する国の施策②延長保育・一時保育 13、保育形態について調べまとめる 14、現代社会での子どもを取り巻く環境についての問題点と解決 15、まとめ 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	佐藤康富『[新版] 新しい保育原理』大学図書出版				

2022 年度こども学科シラバス

科目名	保育実習事後指導 I	科目区分	演習	単位数	1 単位
時間数	30 時間	対象学年	2 年生		
講義目標	保育実習 I での総括・評価を行い、それを踏まえて保育実習 II (III) に向けた学修目標・課題を明確化する。				
講義概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習 I で生じた疑問点を解消する。 2. 保育実習 I の反省と自己課題を明確にする。 3. 保育者に求められる資質・能力について理解する。 				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所実習の目的、意義を再確認する 2. 自己の実習を振り返る (保育所実習) 3. 部分実習・責任実習の指導案の実践について振り返る 4. 施設概要をふまえ、施設実習の目的、意義を再確認する 5. 自己の実習を振り返る (施設実習) 6. 自己の保育技術についての反省・考察 7. 1～6 の学修内容についてまとめる 8. 保育環境、子どもの人間関係、保育者の援助について学ぶ 9. 子どもの発達に応じた保育のあり方を理解する (0～2 歳) 10. 子どもの発達に応じた保育のあり方を理解する (3～5 歳) 11. 教材研究 (絵本、紙芝居、折り紙、手遊び等) 12. 保育士の専門性とは何か 13. これからの保育者に求められるものとは何か。 14. 子育て支援・家庭支援、地域に根ざした保育所とは。 15. 次回の実習における課題を明確にする 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	<p>関口はつ江、他『保育実習ハンドブック』大学図書出版。</p> <p>駒井美智子『施設実習ガイドー保育者として成長するための事前事後学習』萌文書林。</p>				

2022 年度こども学科シラバス

科目名	保育実習事後指導Ⅱ	科目区分	演習	単位数	1 単位
時間数	30 時間	対象学年	3 年生		
講義目標	保育実習Ⅱの総括・評価を行い、それを踏まえて就職に向けた学修目標・課題を明確化する。				
講義概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習Ⅱで生じた疑問点を解消する。 2. 保育実習Ⅱの反省と自己課題を明確にする。 3. 保育者に求められる資質・能力について理解する。 				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実習による総合的な学び（1） 2. 保育実習による総合的な学び（2） 3. 保育実習による総合的な学び（3） 4. 保育実践力の育成（1） 5. 保育実践力の育成（2） 6. 保育実践力の育成（3） 7. 実習施設における指導（1） 8. 実習施設における指導（2） 9. 保育実習からの学びと課題（1） 10. 保育実習からの学びと課題（2） 11. 保育実習からの学びと課題（3） 12. 事後指導における実習の総括と評価（1） 13. 事後指導における実習の総括と評価（2） 14. 事後指導における実習の総括と評価（3） 15. 事後指導における実習の総括と評価（4） 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	関口はつ江、他『保育実習ハンドブック』大学図書出版。				

2022 年度こども学科シラバス

科目名	保育実習事後指導Ⅲ	科目区分	演習	単位数	1 単位
時間数	30 時間	対象学年	3 年生		
講義目標	保育実習Ⅲの総括・評価を行い、それを踏まえて就職に向けた学修目標・課題を明確化する。				
講義概要	<ol style="list-style-type: none"> 1、実習Ⅲで生じた疑問点を解消する。 2、保育実習Ⅲの反省と自己課題を明確にする。 3、保育者に求められる資質・能力について理解する。 				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、保育実習の時期及び準備等の反省と課題 2、福祉施設実習の意義・福祉施設実習の意義の確認 3、福祉施設実習の保育士の役割・福祉施設の専門職について 4、福祉施設実習の実習生の立場と心構えについて 5、事前の施設訪問・施設見学について・実習計画 6、実習期間中の流れ・観察実習の内容 7、参加実習の内容・指導実習の内容・記録の意味の確認 8、実習日誌の書き方・実習施設での問題点と課題 9、施設別の実習の内容と問題点と課題（各自）① 10、施設別の実習の内容と問題点と課題（各自）② 11、施設別の実習の内容と問題点と課題（各自）③ 12、各福祉施設実習での指導実習企画・計画① 13、各福祉施設実習での指導実習企画・計画② 14、各福祉施設実習での指導実習企画・計画③ 15、施設別の実習の内容と問題点と課題 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	駒井美智子『施設実習ガイドー保育者として成長するための事前事後学習』萌文書林。				

2022 年度こども学科シラバス

科目名	保育実習事前指導 I	科目区分	演習	単位数	1 単位
時間数	30 時間	対象学年	2 年生		
講義目標	保育実習の意義・目的・内容・方法を理解する				
講義概要	実習課題の明確化、実習記録の意義・方法の理解、実習施設の理解を図る。保育演習を通して、保育場面のなかでの留意すべき事柄を確認する。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、保育実習の意義・目的を理解する。 2、児童福祉施設における保育士の役割を理解する。 3、施設の機能、社会的役割、一日の流れなどを確認する。 4、保育所の機能、社会的役割、一日の流れなどを確認する。 5、施設及び保育所の実習日誌の書き方や記録する際に必要な留意点 6、実際に指導案を作成する。 7、保育に必要な技術を練習し、自分のものにする。 8、保育に必要な技術を練習し、自分のものにする。 9、模擬保育① 10、模擬保育② 11、模擬保育③ 12、振り返り① 13、振り返り② 14、これまでの学修を総点検 15、実習への準備を万全にする。 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	関口はつ江、他『保育実習ハンドブック』大学図書出版。 駒井美智子『施設実習ガイドー保育者として成長するための事前事後学習』萌文書林				

2022年度こども学科シラバス

科目名	保育実習事前指導Ⅱ	科目区分	演習	単位数	1単位
時間数	30時間	対象学年	2年生		
講義目標	保育実習の意義・目的・内容・方法を理解する				
講義概要	実習課題の明確化、実習記録の意義・方法の理解、実習施設の理解を図る。保育演習を通して、保育場面のなかでの留意すべき事柄を確認する。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、実習への準備を万全にする。 2、どうして実習が必要なのか。 3、実習生とは - ワークシートを通して - 4、保育内容の違い・一日の流れの違い・共通点 5、保育者に望まれる資質とは 6、実習日誌（1） 7、実習日誌（2） 8、実習日誌（3） 9、部分実習と責任実習の違い 10、部分実習に備えて（1） 11、部分実習に備えて（2） 12、部分実習に備えて（3） 13、責任実習に備えて（4） 14、責任実習に備えて（5） 15、まとめ 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	<p>関口はつ江、他『保育実習ハンドブック』大学図書出版。</p> <p>駒井美智子『施設実習ガイドー保育者として成長するための事前事後学習』萌文書林</p>				

2022 年度こども学科シラバス

科目名	保育実習事前指導Ⅲ	科目区分	演習	単位数	1 単位
時間数	30 時間	対象学年	2 年生		
講義目標	保育実習の意義・目的・内容・方法を理解する				
講義概要	実習課題の明確化、実習記録の意義・方法の理解、実習施設の理解を図る。保育演習を通して、保育場面のなかでの留意すべき事柄を確認する。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、施設の概要と学習態度について 2、福祉施設実習とは 3、福祉施設保育士の役割 4、子どもに対する態度・行動 5、福祉施設実習への事前学習 6、保育士と権利保障、ソーシャルワーク 7、施設別の実習内容 8、乳児院の実習 9、児童相談所での実習 10、肢体不自由児施設での実習 11、児童福祉施設実習事後の振り返り 12、幼児文化教材を実践する。 13、施設実習に行く心構えについて① 14、施設実習に行く心構えについて② 15、施設実習に行く前の準備確認と意欲のありかたについて確認。 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	<p>関口はつ江、他『保育実習ハンドブック』大学図書出版。</p> <p>駒井美智子『施設実習ガイドー保育者として成長するための事前事後学習』萌文書林</p>				

2022 年度こども学科シラバス

科目名	保育者・教師論	科目区分	講義	単位数	2 単位
時間数	30 時間	対象学年	1 年生		
講義目標	保育士・幼稚園教諭の制度的位置づけ、社会的役割・職務内容と必要とされる専門的能力を理解し、保育者にふさわしい資 質を自ら養おうとする態度を養う。				
講義概要	社会人としての基本的あり方、保育者の倫理観、乳幼児保育の基礎的知識・技能、保護者 支援の方法等、具体的な保育方法の学習とともに、世界的な保育の動向など幅広い視点も含め、保育の専門家としての見識を 持つように学習を行う。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、保育の意味 2、保育の現状理解 3、子ども観、保育観の重要性① 4、子ども観、保育観の重要性② 5、子ども観、保育観の重要性③ 6、保育者と制度①保育者の制度的地位 7、保育者と制度②保育士資格取得の要件・幼稚園教免許取得の要件 8、幼稚園教諭に求められる能力と職務内容の概要 9、保育士に求められる能力と職務内容の概要 10、保育者の役割と専門性①保育者として望ましい資質 11、保育者に求められる専門性②保護者支援 12、期待される保育者①成長する保育者 13、期待される保育者②社会のニーズへ対応 14、保育者の職務と倫理 15、今後の保育制度の動向と保育者の在り方 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	民秋言編『保育者論』建帛社 文部科学省『幼稚園教育要領』 文部科学省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』				

2022年度こども学科シラバス

科目名	保育内容（言葉）	科目区分	講義	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	1年生		
講義目標	領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身につけ、想像する楽しさを広げるために必要な基本的知識を身につける。				
講義概要	乳幼児期の言葉の発達と言語環境の理論的理解を通して、乳幼児期の豊かな心身の育ちを培うための保育者の役割を考察する。また、豊かな想像性と言語表現を促す児童文化財について、理論と実践を通してその意義と価値を理解し、言葉に対する感覚を豊かにする教材や実践に関する知識、技術を習得する。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、保育内容「言葉」の意義 2、「言葉」のねらいと内容 3、子どもの言葉の発達 4、子どもの言葉と環境 5、保育者の指導・支援（援助） 6、言葉でのかかわりに配慮を必要とする子どもの援助・指導・評価 7、保育者の言葉 8、言葉と児童文化財（教材研究） 9、言葉あそび 10、児童文化教材の実践 11、「言葉」の指導計画 12、言葉と国語教育 13、わらべうた・言葉あそび 14、指導計画を作成 15、まとめ 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	駒井美智子『保育者をめざす人の保育内容「言葉」』株式会社みらい				

2022年度こども学科シラバス

科目名	保育内容（健康）	科目区分	講義	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	1年生		
講義目標	幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園・保育要領における健康領域のねらいと内容について理解、習得することで、幼児期の発育・発達を理解し、子どもが自ら考えて行動し、問題解決できるように育む保育者を目指す。				
講義概要	保育者として子どもの健康な心と体を育てることができるよう自ら健康的な生活を実践し、子どもが健康で安全な生活を作り出す力を支援できるようにする。				
講義計画	1、健康の概念に関する理解 2、領域「健康」のねらいと内容について 3、心身の発達について（1） 4、心身の発達について（2） 5、基本的生活習慣の形成について（1） 6、基本的生活習慣の形成について（2） 7、基本的生活習慣の形成について（3） 8、遊びと健康について（1） 9、遊びと健康について（2） 10、遊びと健康について（3） 11、遊びと健康について（4） 12、健康と安全について（1） 13、健康と安全について（2） 14、健康と安全について（3） 15、授業総括				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	茗井香保里・宮下恭子・平山素子 『乳幼児の健康』 大学図書出版。				

2022 年度こども学科シラバス

科目名	保育内容 (人間関係)	科目区分	講義	単位数	2 単位
時間数	30 時間	対象学年	1 年生		
講義目標	子どもの発達に即した人間関係を育む援助や活動を構想できるようになることを目指す。				
講義概要	保育内容を構成する人間関係について理解する。子どもの発達とともに人間関係がどのように広がり、深まっていくのかを理解する。保育における子ども、保育者、家庭、地域を含めた人とのかかわりについて理解し、保育の全体構造における人間関係に関して総合的に指導・援助が行えるような理論や知識を習得する。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、乳幼児を取りまく人間環境について理解する。 2、乳児期の「人との関わり」に関する発達の過程を理解する。 3、幼児期の集団生活の経験が人間関係を育むことを理解する。 4、パーテンによる「遊びの発達段階」について理解する。 5、「遊びの発達段階」における保育者の望ましい援助について。 6、0～2 歳児の保育者と子どもの人間関係における留意点を理解する。 7、3 歳以上の保育者と子どもの人間関係における留意点を理解する。 8、子どもの自立心や自律心の発達について理解する。 9、子ども達が役割や立場に責任を持ち、主体的に行動するための援助 10、子ども達が人との関係を育てていくなかで必要なポイントを知る。 11、現代の保護者を取りまく状況を理解し、子育て支援を考える。 12、小学校との連携における「人間関係」の課題を理解する。 13、人間関係の力を育む指導案の構成および作成について理解する。 14、人とかかわる力を育てる環境構成について考察する。 15、「人とかかわる力を育てる保育者のかかわり方」について考察する。 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	岸井慶子・酒井真由子 編著 『コンパス 保育内容 人間関係』 建帛社				

2022 年度こども学科シラバス

科目名	保育内容（表現）	科目区分	講義・演習	単位数	2 単位
時間数	30 時間	対象学年	1 年生		
講義目標	乳幼児は日常生活や遊びの中で、イメージを自由に膨らませながら豊かな表現を見せてくれる。保育者には、そのような乳幼児一人ひとりのあるがままの姿を捉え、意志のある「表」と無意識のうちに現れる内的変化である「現」をそれぞれ大切に受け止めるための理解力を身につけることが必要である。				
講義概要	講義と演習を通して、乳幼児における表現の意味を理解し、表現の萌芽に気づき、その表現に対し、適切に対応できる応答力を身につける。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、保育内容「表現」の歴史的変遷について調べまとめる。 2、領域「表現」のねらいと内容の意味を理解する 3、バランスのとれた身体とはどのようなものか理解する。 4、音楽に合わせた遊びの重要性を理解する。 5、子どもの歌を分析することで、特徴と魅力を理解する。 6、季節に着目し行事や動植物、自然や命について観察し、感じ、考える。 7、造形に対する感性と表現について理解する。 8、造形に対する感性と表現について、保育現場での指導方法を考察する 9、音・音楽に対する感性と表現について理解する。 10、音・音楽に対する感性と表現について、保育現場での指導方法を考察する 11、子どもの豊かな感性と表現を育むための環境について理解する。 12、表現を育てる保育者の役割と保育教材について考察する。 13、領域「表現」のねらいや内容を参考に、指導案を立案し実践する。 14、模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身につける。 15、保育内容「表現」のこれまでと今後の課題について考察する 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	小林紀子・砂上史子・刑部育子 『新しい保育講座 保育内容「表現」』 ミネルヴァ書房				

2022 年度こども学科シラバス

科目名	保育内容総論	科目区分	講義	単位数	2 単位
時間数	30 時間	対象学年	1 年生		
講義目標	保育内容の 5 つの領域(保育所は「養護」的内容が加わる)は保育実践では分断されて行われるものではない。具体的な生活や遊びの中では、それらが丸ごと含まれているので、実践の中で総合的に捉える視点をもてるようにし、保育を進めていけるように学ぶ。				
講義概要	改めて 5 領域について理解を深めるとともに、それらが独立したものではなく互いに影響を与え合っているということを事例等を通して理解する。				
講義計画	1、「保育内容総論」とはなにか 2、保育の基本 3、保育内容の意味 4、保育内容の変容とその背景 5、保育方法と保育内容 6、子どもの育ちをどのように見るか 7、3 歳児未満児の保育内容と指導計画のポイント 8、3・4・5 歳児の保育内容と指導計画のポイント 9、1・2 歳児の保育の展開 10、年少児の保育展開 11、年中児の保育の展開 12、年長児の保育の展開 13、学校教育の基本としての保育 14、現代社会と生きる力の基礎 15、まとめ				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	関口はつ江、岸井慶子『実践理解のための保育内容総論』大学図書出版。				

2022年度こども学科シラバス

科目名	保育表現技術演習	科目区分	演習	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	3年生		
講義目標	保育における言語的な表現技術を学修し、保育に関する基礎理論、保育内容、保育技能等、学修した知識・技能をこの保育表現技術の中で活かし、それらの体験を通して、保育における表現技術をスキルアップし、総合的に深めていくことを目的としている。同時に保育者に求められる人間性の醸成をはかっていくものである。				
講義概要	保育の中で行われる様々な表現活動について、計画・指導案作成から模擬保育を行い、反省や課題を探る中で教材研究の重要性を再認識し実践力を育む。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、保育とは何か・意義と目的（保育の質と組織活性化について） 2、保育教材の意義と保育活動における教材の必要性について 3、保育教材の三機能について（教育性・興味性・児童性） 4、保育教材の支援と援助について（二重の支援について） 5、保育教材の必要性について 6、保育教材の作成企画 7、保育教材の作成① 8、保育教材の作成② 9、保育教材の実践 10、保育教材の実践の反省と課題① 11、保育教材の実践の反省と課題② 12、保育教材の実践の反省と課題③ 13、保育教材とは何か、整理しまとめる 14、統合保育・多文化保育等について 15、保育者の表現力を育てるにはどうしたらよいか。 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	駒井美智子、他『すぐに使える笑顔いっぱいあそびのレシピ』大学図書出版。				

2022 年度こども学科シラバス

科目名	法学（憲法）	科目区分	講義	単位数	2 単位
時間数	30 時間	対象学年	1 年生		
講義目標	社会福祉の専門家にとって、憲法、民法、行政法（特に生活保護法や児童福祉法など社会福祉に密接に関連する法律）の基礎知識を学ぶことは重要である。				
講義概要	社会福祉における法的作用や役割を学び、社会福祉の専門家として必要とされる法律の基本的知識を習得する。また、憲法、民法（中でも親族法、相続法）、行政法については、条文や判例の検討なども含めて研究する				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、法の本質と目的 2、成文法と不文法という法の存在形式（法源）を学修する。 3、不文法の中の慣習法と判例法の重要性を把握する。 4、法の体系 5、法の効力 6、法の解釈方法の違いを見きわめる。 7、国会の権限を知る。 8、内閣の機能を考える。 9、裁判所の役割をつかむ。 10、基本的人権の思想史とその種類を学修する。 11、自由権の種類とその内容を研究する。 12、社会権の種類とその存在価値を検討する。 13、受益権の種類とその事例を考察する。 14、参政権の種類とその意義を理解する。 15、まとめ 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	三好充、他『ポイント法学』嵯峨野書院。				

2022年度こども学科シラバス

科目名	幼児教育方法論	科目区分	講義・演習	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	2年生		
講義目標	幼児期における保育方法の基礎的な理論と実践について学習する。				
講義概要	実際の保育の場で必要とされる「環境の構成」及び「活動の状況や一人一人の幼児に応じた援助」について理解し身に付けるとともに、教材研究、活動の展開、保育形態、評価の在り方などを学び、指導案の作成方法を理解する。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、保育方法の基本 2、環境を通しての教育とは 3、遊びを通しての教育とは 4、幼児の主体性の育成について 5、学びをはぐくむ遊びの内容 6、環境を通しての教育 7、さまざまな保育形態 8、保育における指導計画の基本的事項 9、保育における省察と記録、実践と評価 10、乳幼児期の情報機器利用状況 11、幼児理解や保護者との連携 12、幼児期の教育と小学校教育との接続・連携 13、家庭との連携を生かした保育 14、地域との連携を活かした保育 15、保育のボーダレス化と多様な保育形態 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	小田豊、他『保育の方法・内容を知る 幼児教育の方法』北大路書房。				

2022年度こども学科シラバス

科目名	幼児体育	科目区分	講義・演習	単位数	2単位
時間数	30時間	対象学年	2年生		
講義目標	子どもたちの運動遊びや身体表現の場において、言葉による指導・助言のみに頼るのではなく、保育者自身が視覚教材となり得るような動作やしぐさを身につける。				
講義概要	身体運動に関する基本的な知識（幼児期に体得すべき基礎的動作・基本的運動を含む）の理解を深めるとともに、自身の運動能力を高めるためのプログラム、遊びの要素を取り入れながら幼児体育で取り扱う運動遊び・ゲーム・身体表現等に関する教材研究を行う。また安全管理や安全教育について学習する。				
講義計画	1、幼児体育の意義について 2、幼児期の運動遊びについて 3、遊びの必要性について① 4、遊びの必要性について② 5、指導計画① 6、指導計画② 7、指導計画に基づく実践① 8、指導計画に基づく実践② 9、乳幼児の運動遊びの実際① 10、乳幼児の運動遊びの実際② 11、乳幼児の運動遊びの実際③ 12、表現遊び 13、創作リズム体操 14、乳幼児の安全教育 15、学修内容の振り返りとこれからの幼児体育				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	井上勝子『すこやかな子どもの心と体を育む運動遊び』建帛社				

2022 年度こども学科シラバス

科目名	幼児理解	科目区分	講義	単位数	2 単位
時間数	30 時間	対象学年	1 年生		
講義目標	保育は、幼児一人ひとりの発達の特徴に応じ、発達の課題に即した指導、援助を行うことが重要である。それを実践できる知識・技能を得ることを目標とする。				
講義概要	本科目では、幼児一人ひとりの行動や内面の理解、発達を適切に把握できるよう、ビデオ等も利用し保育の基本のあり方、幼児の生活の実際、指導、援助方法、留意する点、保育記録の意味等について学ぶ。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、保育方法の基本、保育方法の原理について 2、乳幼児の理解と保育方法 3、環境による保育とは 4、環境による保育とは 5、遊びによる総合的指導とは 6、遊びにおける総合的指導とは 7、保育における個と集団とは 8、子どもにふさわしい園生活の展開とは 9、発達の時期に応じた保育のあり方 10、発達の時期に応じた保育のあり方 11、保育の計画と実践 12、行事を生かした保育の展開 13、家庭・地域・小学校との連携を生かした保育 14、さまざまな工夫が求められる保育 15、保育者の成長と保育実践の深まり 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	大豆生田啓友・渡邊英則 編著 『新しい保育講座 6 保育方法・指導法』 ミネルヴァ書房				

2022 年度こども学科シラバス

科目名	臨床心理学	科目区分	講義	単位数	2 単位
時間数	30 時間	対象学年	3 年生		
講義目標	臨床心理学は、心理的な障害や問題に悩む人の適応や発達、自己実現を専門的に援助する実践について研究する学問である。そのため、まず、発達の観点からの臨床心理学的人間理解として、乳幼児期・学童期・思春期・青年期・成人期・老年期の心理的な課題と問題について学ぶ。				
講義概要	心理アセスメントの様々な側面と方法について学び、さらに、様々な臨床心理学的援助の方法についても概説する。その上で、臨床心理学的実践の様々な領域についての学修を重ねて、実践的な臨床心理学的な視点や思考方法を身につけていく。				
講義計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、臨床心理学とは何か 2、臨床心理学の学問的背景について 3、正常と病理の概念について 4、乳幼児期から児童期までの発達特徴と臨床心理学的な発達課題について 5、青年期の心理と臨床心理学的問題 6、成人期と老年期の心理 7、心理アセスメントの理解 8、心理面接によるアセスメントについて 9、心理テストによるアセスメントについて 10、臨床心理学的援助の方法 11、対話以外の方法を用いた心理療法について 12、家族・集団・地域社会へのアプローチ 13、教育・福祉・司法のそれぞれの領域における臨床心理学的実践 14、医療の領域における臨床心理学的実践 15、地域における臨床心理学的援助 				
成績評価	出席状況、レポートの内容、試験結果をもとに総合的に判断する。				
使用テキスト等	野島一彦『臨床心理学への招待』ミネルヴァ書房。				